

■ 計画の体系

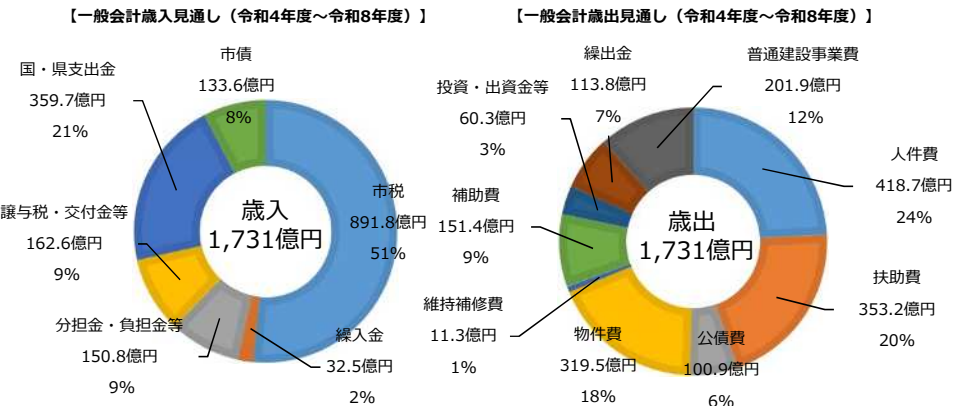
君津市総合計画は基本構想、基本計画、実施計画の3層で構成されます。  
 実施計画は、君津市総合計画 前期基本計画に定める分野ごとの施策を推進するための事業を示す計画です。

区分	計画期間	内容
基本構想	R4年度～R12年度【9年】	将来ビジョン、行動姿勢、将来ビジョンを実現するための柱と将来の姿、将来デザインなど
基本計画	R4年度～R8年度【前期5年】 R9年度～R12年度【後期4年】	将来ビジョンを示すための柱ごとの施策、指標、目標値、戦略的プロジェクト、拠点づくり、財政見通しなど
実施計画	単年度ごと	基本計画に定める分野ごとの施策を推進するため、毎年度の予算編成、行政評価と連動した事業計画

- 「まち・ひと・しごと創生」総合戦略との一体化
- 国土強靱化地域計画との一体的推進
- SDGs（持続可能な開発目標）との関わり

■ 財政の見通し

- ・社会経済情勢や地方財政制度の動向を踏まえ、総合計画に基づき今後展開される施策などを盛り込んだ歳入歳出の試算を行うものです。
- ・前期基本計画中の財政見通しを示すとともに、施策に関連する事業を示す実施計画と予算の連動を図ることで計画の実効性を確保していきます。
- ・限られた予算を効率的に運用するため、徹底した「選択と集中」を行い、前期基本計画の戦略的プロジェクトなどを推進することで、将来ビジョンの実現を図っていきます。



将来ビジョン ひとが輝き 幸せつなぐ きみつ  
 行動姿勢 むすぶ ～ 多様な"むすび"により君津の未来を創る～

令和4年度当初予算額  
 一般会計：360億6,000万円  
 （前年度343億8,000万円・4.9%増）

柱1 経済と環境が調和したまち【経済、環境】	柱2 誰もがいきいきと生活できる地域共生のまち【健康、福祉】	柱3 安心して子育て・子育てでき学びを楽しめるまち【子育て、教育、文化】	柱4 快適で安心して暮らせるまち【安全安心・都市基盤】	柱5 とともに創る次世代につながるまち【パートナーシップ、人権、行財政】
<b>主な事業</b> ■ 地元採用促進事業（予算額：4,200千円） ■ 君津インターチェンジ周辺土地利用検討事業（予算額：8,000千円） ■ 農業担い手総合支援事業（予算額：2,420千円） ■ 脱炭素社会推進事業（予算額：10,802千円）	<b>主な事業</b> ■ 地域コミュニティづくり推進支援事業（予算額：7,829千円） ■ ひとり暮らし老人等福祉タクシー事業（予算額：1,686千円） ■ 介護予防・地域支え合い事業（予算額：16,681千円） ■ 生涯スポーツ推進事業（予算額：1,174千円）	<b>主な事業</b> ■ きみつ赤ちゃん応援パック事業（予算額：10,273千円） ■ (仮称) 貞元保育園整備事業（予算額：56,215千円） ■ ICT活用推進事業（小・中学校費、教育センター費）（予算額：253,025千円） ■ 公民館等再整備事業（予算額：4,950千円）	<b>主な事業</b> ■ 橋梁長寿命化事業（予算額：223,869千円） ■ 消防自動車購入事業（予算額：235,840千円） ■ スクールバス利活用実証運行事業（予算額：5,200千円） ■ 調査推進事業（立地適正化計画の策定）（予算額：6,182千円）	<b>主な事業</b> ■ 地方創生広域連携事業（予算額：8,272千円） ■ 清和地区拠点施設整備事業（予算額：265,894千円） ■ 庁舎整備基金積立金（予算額：300,000千円） ■ DX推進事業（予算額：17,473千円）

- 戦略的プロジェクト
- A 安心して働ける環境をつくる
  - B 子育て世代が住みやすいまちをつくる
  - C 環境グリーン都市をつくる
  - D デジタル技術を活用して新たな価値をつくる